

# H27年 奥松島地域 営農再開実証プロジェクト

平成27年6月10日  
宮城県東部地方振興事務所農業農村整備部

## 1 プロジェクトの背景

- 東日本大震災の津波により、農地の洗掘、津波土砂堆積等被害が甚大
- 長期間にわたる農地海没、海水の浸水
- 地盤沈下に伴う塩水の侵入
- 津波被害による農家の防集団地への移転等で、地域の担い手不足が懸念

営農再開へ早期の見える復旧・復興

## 2 プロジェクトの目的

- 1 プロジェクトサイトを選定し、H26～水稲・畑作物作付けを行い、モニタリングの実施による課題の抽出
- 2 海拔0m以下の奥松島地域(宮戸地区、洲崎地区)における農地復旧・除塩工法の技術的知見の収集と、他工区への技術的応用
- 3 「目に見える復旧」による営農意欲、希望の復活
- 4 水稲、畑作物選択における基礎データ蓄積
- 5 地域農業者・JAに対して、塩害対策に対する排水コントロールとモニタリング技術の移転

## 3 プロジェクトメンバー

奥松島(宮戸・州崎)の農業を考える会

### 奥松島地域 営農再開実証プロジェクト

- ・東松島市農林水産課:(事務局)
- ・東部地方振興事務所:農業振興部、農業農村整備部(東名・洲崎、宮戸担当)
- ・農業・園芸総合研究所:(宮戸担当)
- ・鳴瀬土地改良区:
- ・JAいしのまき鳴瀬営農センター:
- ・地域農業者:「奥松島(宮戸・州崎)の農地を考える会」  
(奥松島グリーンファーム、いちじくの里、宮戸地区復興組合ほか)
- ・事業関係者:施工業者、地質専門家

「注」資材や機械のリースは、東松島地域農業再生協議会による補助を考えています。」

## 4 プロジェクト概要

### ○プロジェクトサイト: 鳴瀬9・10地区(A工区)

- H26試験ほ場(鳴瀬9・10)  
・ΣA=1.7haの内 継続: A=0.7ha(麦収穫)  
新規: A=0.14ha(水稲:直播)
- H27試験ほ場(A工区)  
・ΣA=0.6haの内 新規: A=0.5ha(大豆)

### ○モニタリング

- ・地下水位、塩分濃度
- ・雨水湛水状況、排水状況
- ・水稲、畑作の生育、品質、収量等

### ○プロジェクトサイト: 鳴瀬18地区(1・6分

- 区) 里浜  
H26試験ほ場(6分區)  
・ΣA=0.3ha 継続: A=10a(サツマイモ他)  
月・大浜 新規: A=10a(ソバ)

### ○理論解析

- ・浸透流解析(FEM解析)
- ・塩分移流分散解析(差分法)

## 5 工程表

	H26年度			H27年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
・鳴瀬9・10地区			大麦刈り取り(A=70a)												
・A工区干拓地															
鳴瀬18地区(6分區)															
(1・6分區)															
プロジェクト会議															

○ モニタリング

※ 雨水湛水状況、排水状況は、8mm/day以上の降雨時に確認を行う

## 6 プロジェクトサイトの復旧計画(案)

### 鳴瀬9・10地区(A工区) →機械排水区

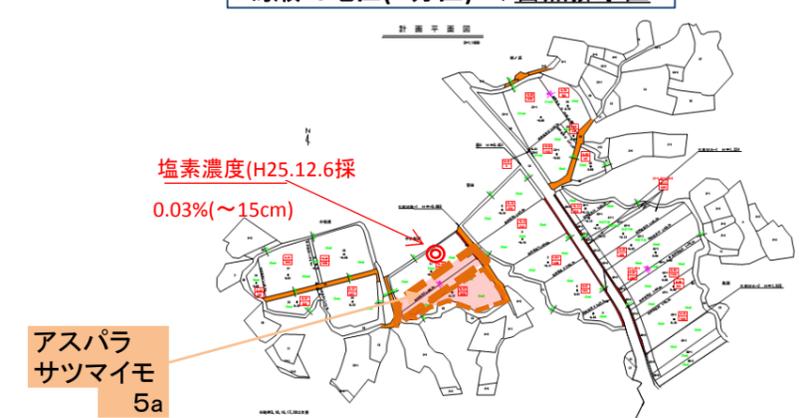


### ・H27試験ほ場(新規) 大豆 50a

### 農地復旧断面図

- 表土+堆積土
  - 山砂(購入土)
  - 盤上(防集土)
- \* ほ場は、除塩回数0、2回に区分する

### 鳴瀬18地区(6分區) →自然排水区



アスパラ  
サツマイモ  
5a

# H27年 奥松島地域 営農再開実証プロジェクト<宮戸ソバロード計画 (案)>

平成27年6月10日  
宮城県東部地方振興事務所農業農村整備部

## 7 ソバロード計画 (案)

- 長期間にわたる農地海没、海水の浸水→H25～H26天水による除塩工事実施→除塩効果確認が必要。
- 宮戸地区は、観光地であるため景観的にも優れ、緑肥効果が期待出来る作物→「ソバ」を選定(戦略作物)。

- 夏の観光シーズンを考慮し、県道(主要道)脇に「ソバ花」を播種する。

営農再開へ早期の見える復旧・復興



<里浜(6分区) ソバ作付け A=10a>

<月・大浜(1分区) ソバ作付け A=30a>



月浜海水浴場